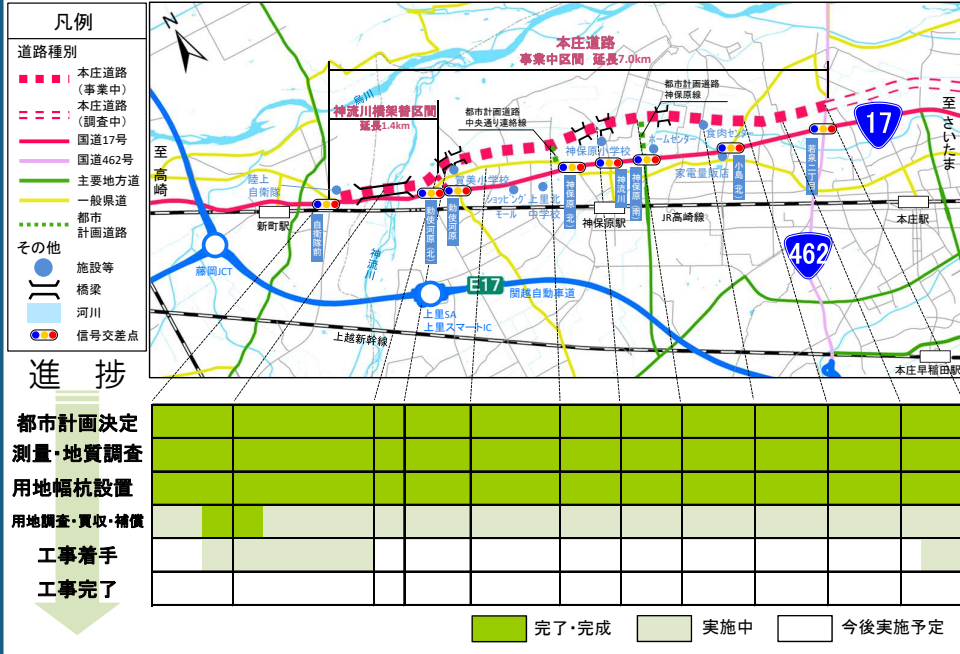


## 本庄道路の事業進捗

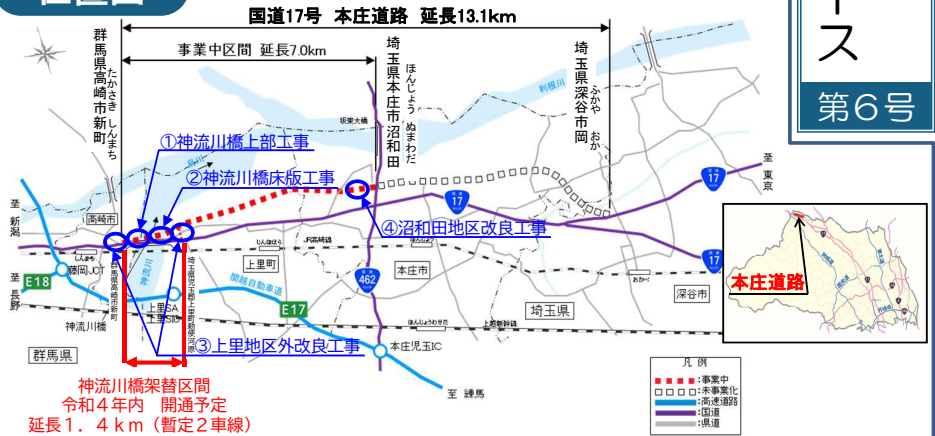


## 本庄道路の工事進捗をお知らせします

日頃より国土交通省事業に対して、多大なご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。本庄道路は、現在、国道四六二号から群馬県の終点まで延長7.0km区間で事業を進めております。令和四年内の暫定二車線供用を目指す神流川橋架替区間については、神流川橋上り線の上部工架設が完了し、令和三年度は、引き続き、床版工事および改良工事を進めて参ります。今後も安全対策に細心の注意を払いつつ、開通に向けて、努力して参りますので、ご理解・ご協力をお願いいたします。

国道17号  
本庄道路ニュース  
第6号

## 位置図



## 工事に関するトピックス

本庄道路新設に伴う農業用水の支線パイプライン付替のため、1月下旬から3月中旬にかけて、第15号分水工および第16号分水工の影響範囲について断水をさせていただいたところですが、付替工事は無事に完了しました。断水期間中は、給水栓の開閉や、用水確保など、多大なご協力ありがとうございました。来年度も同時期において、支線パイプライン付替工事を予定しておりますので、引き続きご協力をお願いいたします。



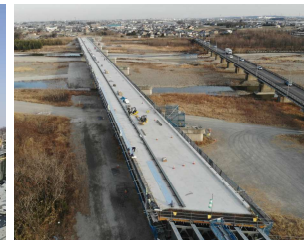
## 進捗状況

＜神流川橋架替区間の工事状況＞

- ① 神流川橋上部工事 (P8～A2)
- ② 神流川橋床版工事 (A1～P8)
- ③ 上里地区外改良工事



群馬県側の主桁架設状況です。2月に上り線桁架設が完了し、現在、継手部の現場塗装を施工しています。



埼玉県側の床版コンクリート打設が完了しました。引き続き、群馬県側の床版を施工します。



埼玉県側の改良工事では、電線共同溝の管路を設置しています。

## 大宮国道事務所のご案内

国土交通省 関東地方整備局 大宮国道事務所  
〒331-9649  
埼玉県さいたま市北区吉野町1-435 TEL 048-669-1200(代表)

大宮国道ホームページ  
<https://www.ktr.mlit.go.jp/oomiya>



本庄道路に関するページはこちら

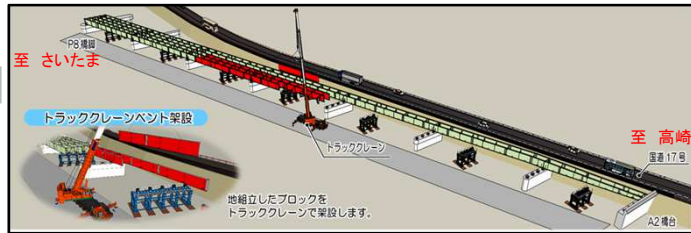


発行：国土交通省 大宮国道事務所 計画課 TEL 048-669-1205  
協力：本庄市役所 都市整備部 道路管理課

# H31・32本庄道路神流川橋上部工事 【日本橋梁株】の紹介

## 工事概要

### 架設概要



●神流川橋上り線(P8～A2)のトラッククレーンによる鋼桁架設工事です。

## 進捗写真

令和3年1月



●架設工 鋼桁架設状況(さいたま方面より)

令和3年2月



●架設工 2月24日に上り線架設作業が完了しました。(神流川下流より)

●現場塗装工の施工を3月より開始しています。

## 担当技術者

現場代理人 日本橋梁株 桑折晋二



現場代理人の桑折です。地域の皆様にはご理解とご協力いただきありがとうございます。発注者・協力会社と連携し、安全第一で工事を進めてまいります。よろしくお願いいたします。

監理技術者 日本橋梁株 浅野剛

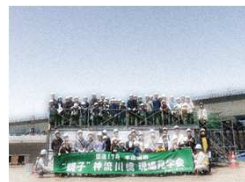


監理技術者の浅野です。地域の皆さまには、安全かつ安心して利用いただける道路として、また、地域経済の発展に貢献する道路を念頭に施工してまいります。よろしくお願いいたします。

## 本庄道路の現場見学会について

これまで、平成30年4月、令和元年12月の2回に渡り、神流川橋の現場見学会を開催しました。事業の進捗に合わせた現場見学会・イベントを継続的に実施していきたいと考えておりますが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、令和2年度開催を見送りました。

新型コロナウイルス感染症の収束状況を見ながら、令和3年度内の開催を検討していきますので、しばらくお待ちください。 <第2回(令和元年12月開催) 親子現場見学会の様子>



集合写真



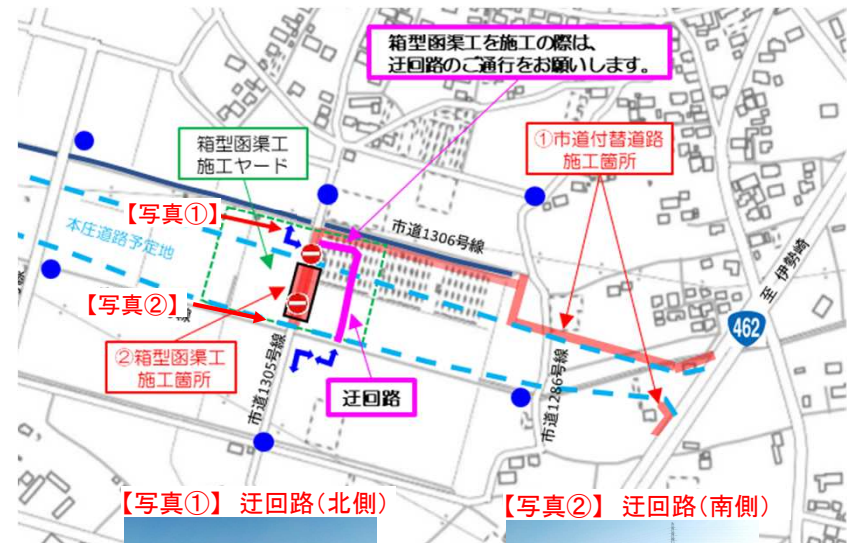
高所作業車乗車体験



ドローン体験

## 本庄市道1305号線の迂回路について

本庄市沼和田地区において、市道1305号箱型函渠工の施工に先立ち、市道1305号の迂回路を設置しました。工事中はご不便をお掛けし、大変申し訳ございませんが、迂回路のご通行にご協力をお願いいたします。



【写真①】 迂回路(北側)

【写真②】 迂回路(南側)



## 情報発信コーナーへ寄せられた意見と回答

本庄市情報発信コーナーにいただいたご意見について、回答いたします。

### ○ 本庄道路とまちづくり、完成したらどうなる？

回答：本庄道路完成後は、深谷バイパス等と一体になって地域の幹線ネットワークを形成され、国道17号の混雑緩和や本庄地方拠点都市地域開発を支援するとともに、地域の防災・震災対策に大きく寄与するものと考えています。

### ○ 1日も早い完成を期待しています。

回答：早期の完成を目指し、事業を推進して参ります。

### ○ 神流川橋の旧橋はただ壊すのではなく、構造形状を分析してほしい。

回答：神流川橋は、1934年(昭和9年)に架設され、80年以上が経過しています。河川管理上の制約(河積阻害の解消)により、新橋の供用後には、現橋の撤去を行っていきます。なお、現橋形状や損傷状況、補修経過については、橋梁点検業務にて記録し、今後の橋梁補修のため役立てて参ります。



これからも色々な情報を発信していきます。